



## インドネシアから伝えたい 「観光スポット・トップ5」

本記事をお読みになる頃は、日本では夏休みを控えて30度以上の日々が続いていると思います。読者の皆様は、そろそろ蒸し暑い日本から抜け出してエメラルド色の海に飛び込みたいのでは？中には、世界遺産を巡ったり遠くからきた祖先に出会ってみたいという気持ちになっている人もいないのでしょうか？

そこで、インドネシアは間違いなく理想の選択になるでしょう。インドネシアは17,000以上もの自然豊かな島々から成り、世界の人々から好まれ続けている旅先として、常にトップクラスに選ばれています。単に豊かな自然のみならず、歴史を感じる文化遺産も見所です。そこで、筆者個人が実際に満喫した5つの観光名所をお勧めしたいと思います。

### (1) ラジャ・アンパット諸島 (Raja Ampat)

岩かと見間違ふほど小さな無人島や有人島が混在している澄んだ青い海は、ダイバーにとってはまさに天国と言えるでしょう。ここでは、ダイビングをしながら世界一の多様性を誇る水中生物やワヤグ島周辺の豪華なサ



(出所：<http://indonesia.travel/cn/en/destinations/maluku-papua/raja-ampat>)

ングを見ることができます。また、ミソール島周辺のホテルウオッチングやマンタなどの異国の生き物と一緒に泳ぐことも夢ではないです。

### (2) ロンボク島 (Lombok)

神秘的な魅力を帯びるビーチでは、のんびりした気楽なムードを楽しむことができます。ロンボク島は、バリ島に匹敵する絶好の旅行先と言われており、バリ島以上にのんびりしたい人にはベストチョイスになるでしょう。筆者がロンボク島で好きな場所は、ウェスト・スコトン村にある「ピンクビーチ」と、たくさんのマリニアクティビティが可能なギリ・アイルです。この島は子供連れの家族にも非常に優しいところです。

### (3) マゲラン (ボロブドゥール寺院) (Magelang (Borobudur Temple))

マゲランはジャワ島の中部ジャワ州の都市で、ボロブドゥール寺院遺跡群があります。8世紀に建立された世界最大級の仏教寺院のひとつです。一時はその存在すらも忘れられていたのですが、19世紀にオランダの考古学者により再発見され、20世紀にユネスコによって復興されました。この寺院を訪問する際には、インドネシアで最も豪華なホテルの一つであるアマンジオホテルをお勧めします。そこでは、ボロブドゥール寺院で日の出を見るためのツアーをアレンジしてくれます。

### (4) コモド島 (Komodo Island)

現代の怪獣に出会いたいということなら、



(出所：<http://www.indonesia.travel/gb/en/destinations/bali-nusa-tenggara/labuan-bajo/komodo-national-park>)

コモド島を訪問されてはいかがでしょう。この島にあるコモド国立公園は、成長すると最大全長3メートルを超えるコモドドラゴンが数千も生息しています。一般的に、コモドドラゴンはこちらから脅かすようなことをしなければ攻撃はしてきません。コモドドラゴンが近くにいるときは、決して急に動かないください。もし追いかけるようなことになったら、まっすぐ逃げるのではなくジグザグに走ることを心がけてください。また木には登るようなことはせず、一目散に公園内の避難所に逃げ込むことを心がけてください。



(出所：著者)

#### (5) バリ島 (Bali)

バリ島へ行かないインドネシア旅行などありえないのではないのでしょうか。バリ島は、沢山の楽しいアクティビティがあります。例えば、騒ぐのが好きなら、クタ地区のクラブがあります。また、心身のリフレッシュをしたいということならウブドに滞在するのがお勧めです。ヨガや水田近辺の散歩を楽しめます。筆者がウブドで一番好きなホテルは、パドマリゾート・ウブド (<http://www.padmaresortubud.com/>) です。ホテル内にあるインフィニティプールからは、緑豊かな森や水田が広がる絶景を見下ろすことができます。

この夏、インドネシアでリラックスした休みをお過ごし下さい！

#### 著者紹介

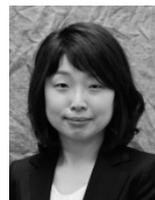


Mr. Emirsyah Dinar  
(エミルシャ・ディナル)

GIP ASEANインドネシアオフィス (AFFA) アソシエイト。1991年ジャカルタ生まれ。ニュージーランドのヴィクトリア大学卒業後、インドネシアのガジャ・マダ大学院卒業。

2014年より知的財産分野のキャリアをスタート。商標と特許担当。2016年コンサルタント試験合格。2016年より United GIPs グループに参加。趣味は、ラグビー、サッカー及び旅行。

#### 編集者紹介



魯 佳瑛 (ノ・カヨン)

日本弁理士、新樹グローバル・アイピー特許業務法人所属。1981年韓国ソウル生まれ。ソウルの成均館大学卒業。2006年よりソウルの特許事務所にて知的財産分野のキャリアをスタート。結婚をきっかけに来日。

2014年日本弁理士試験合格。専門は、商標・意匠・著作権。夢は世界一周。